



真名子小だより 10月号

# えがお



平成25年10月16日

発行者 島田 芳行



“天高く馬肥ゆる秋” 真名子の澄み渡った青空に、色づき始めた里山とそば畑の白い花がとてもよく合います。

さて、去る10月13日(日)、6つの大字対抗で行われた西方地域体育祭で、見事、真名子が優勝しました。誠にありがとうございます。最後の種目までは僅差で3チームが競り合っていました。小・中学生によるリレーで女子チームが2位、男子チームが1位になり、堂々の優勝でした。老若男女が一つにまとまり、その中で小・中学生の子どもたちが伸び伸びと自分の力を発揮していました。改めて真名子地区住民のエネルギー

のすごさと絆の強さ、そして子どもたちの活躍に絶えず向けられていた温かな眼差しに感服しました。

2学期に入り、学校では、今、改めて腰骨を立ててよい姿勢で学習に向かうこと、学び合いから考えを深めること、そしてしっかりと発表することなど学力向上に向けた取組に力を入れています。その結果、1学期に比べて学習中の態度が確実によくなってきています。今月は、さらに読書週間や社会科見学、音楽鑑賞会等の行事があり、また、11月の学習発表会に向けた準備もスタートします。子どもたちは、今、1年の中で一番充実した時期を迎えています。ご家庭でも子どもたちの様子をよく見ていただき、支え励まし、頑張りをほめてくだされば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

## 読書週間が10月16日からスタート！ -10月の校長講話より-



本校の読書週間は全国よりも早く、10月16日から23日までの1週間です。

ところで、皆さんは、どうして読書が大切だと思いますか。今日は、栃木市が生んだ有名な作家、山本有三先生の「心に太陽をもて」の本の中に出てくるこの詩を読みながら考えてみましょう。

### 心に太陽を持って



心に太陽を持って  
あらしが ふこうと、  
ふぶきが こようと、  
天には黒くも  
地には争いが絶えなかり  
いつも、心に太陽を持って

くちびるに歌をもて、  
軽く、ほがらかに。  
自分のつとめ  
自分のくらしに、  
よしや苦勞が耐えなかり  
いつも、くちびるに歌を持って

苦しんでいる人、  
なやんでいる人には、  
こうはげましてやろう  
「勇気を失うな。  
くちびるに歌を持って  
心に太陽を持って。」

この詩を読んで、どう思いましたか。つらいことがあったとき、苦しいことがあったとき、嫌なことがあったとき、みなさんはどのような気持ちになりますか。暗い気持ちになりませんか。この詩は、そんな時こそ心に太陽をもち、くちびるに歌をもって、明るく元気に頑張ろう。隣に元気のない人がいたら、大丈夫、元気を出して頑張れと励ましやろうというメッセージと考えます。

皆さんはこの詩を、例えば東日本大震災で今も苦しんでいる人たち、戦争で苦しんでいる人たち、さらには身近な人で元気をなくしている人たちに、読んで元気づけてみたいと思いませんか。

この本を読まなかったら、こういうよい詩には出逢えませんでした。読書は、いろいろな知識、優しい心や勇気などを与えてくれます。そしていろいろな知識が身に付き、心が育つと、今までと違った考え方ができるようになります。読書によって知識も心も考え方も成長します。たくさんよい本と出会い、立派な人になってください。

### 【読書週間中の行事】

紙芝居(10/17)、読書集会(10/21)、図書の先生の読み聞かせ(10/22)

10月の「ここの日」…家族読書(10/20)



## **頑張る真名子っ子！ ～学校をリードする6年生～**

10月1日・2日、6年生が修学旅行で鎌倉・箱根に行ってきました。そこで協力・思いやり・実践力などを身に付けた子どもたちは一段とたくましくなり、下級生のよい手本となって学習や清掃、学校行事等に頑張っています。代表委員会で学校行事をより楽しくするための話し合いを行ったり、委員会や清掃活動では下級生をうまくリードしたりしながら、責任をもってしっかりと取り組んでいます。6年生を中心にぜひ真名子小学校のよき伝統が築かれるよう、学校・家庭・地域が一丸となって子どもたちを支援していきたいものです。どうぞよろしくお祈りします。



## **文化を楽しむ「ふるさと交流会」 ～地域に学び、地域の中で育つ子どもたち～**

10月12日（土）、本校の目玉行事である「ふるさと交流会」が行われました。この行事は、ふるさとの名人から、真名子に伝わる文化、日本の文化を親子で学び体験する活動です。12回目となる今年度は、「絵手紙」「折り紙」「竹とんぼ」「横笛太鼓」「和紙人形」「和裁」の6講座を開設しました。また、来年度、小規模特認校になることから、学校開放日として入学予定の園児等の参加も受入れ、学区内の園児の他、学区外の園児も一緒に参加し、楽しい一日となりました。

〔絵手紙〕



〔折り紙〕



〔横笛太鼓（お囃子）〕



〔竹とんぼ〕



〔和紙人形〕



〔和裁〕



※ 我が国の文化と伝統を尊重し、我が国と郷土を愛する心情を育てることは、国際社会を生きるこれからの子どもたちにとってとても重要なことです。真名子小の子どもたちは、日本を代表する文化を、地域の名人から直接学ぶことができます。とても幸せなことです。

親子で、ふるさと真名子を誇りに思い、そのよさを実感した一日ではなかったでしょうか。

### 参加くださった「ふるさと名人」(順不同)

- ・横笛太鼓…田中敏雄様、田口義道様、落合久好様、島田善一様、大橋正義様
- ・絵手紙…中村良一様
- ・和紙人形…狐塚紀和子様
- ・折り紙…栗原美智子様
- ・竹とんぼ…高久和人様
- ・和裁…小出和枝様

講師の皆様、ありがとうございました！🍎🍌

このたび、本校の金山ひとみ教諭が「とちぎ教育賞」を受賞しました。この賞は、日々の実践を通じて顕著な教育効果を上げている教育関係職員を栃木県教育委員会が表彰するものです。

去る10月9日（水）に栃木県公館で表彰式が行われ、小中高の教職員50名を代表して、金山教諭が県の教育委員長より表彰状を直接授与されました。本当にうれしいことで皆様と一緒に喜びたいと思います。

